

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46

広報室 TEL：0798-45-3533

トルコ・シリア大地震から1年 歴史都市アンタキヤの町並み復興を考える 公開セミナーを開催します。

2023年2月に発生したトルコ南東部を震源とするトルコ・シリア大地震から1年が経過したのを機に、被災地の復興に向けた調査を行っている武庫川女子大学建築学部の教員が再度トルコに赴き、町全体が壊滅的な被害を受けたハタイ県の歴史的都市・アンタキヤを現地調査しました。その調査を踏まえ、アンタキヤの旧市街の町並み復興について考える公開セミナーを3月16日、武庫川女子大学上甲子園キャンパスで開催しますのでご案内いたします。

武庫川女子大学建築学部では2023年2月6日のトルコ・シリア大地震を受け、4月12日から20日まで教員3人が神戸市職員2人とともに現地入り。イスタンブールからアダナ県、カフラマンマラシュオニキシュバト地区、ハタイ県アンタキヤ地区、サマンダー地区、イスケンデルン地区、バヤス地区等に移動しながら被害状況を確認し、倒壊した建物の構造的欠陥をチェックするなど調査を進めました。

アンタキヤは古代セレウコス朝シリアの首都アンティオキアだった歴史都市です。2023年2月の地震で文化遺産である多くのモスクや教会が崩壊し、歴史ある旧市街の町並みは壊滅状態となりました。

武庫川女子大学は文化庁から令和5年度緊急的文化遺産保護国際貢献事業「トルコ共和

国における歴史的市街地の復興に関する国際貢献事業」を受託し、アンタキヤ旧市街の町並みの復興案のベースとなる意見書を建築学の立場から作成することを目指しています。その目的のため、2月23日から3月1日まで再び教員2人がアンタキヤを現地調査しました。

本セミナーでは、ともに現地調査を行い、互いに連携・支援を続けているバフチェシヒル大学のムラツ・ドゥンダル教授を日本に招聘。アンタキヤの現状を共有するとともに、どのように町並みを復興したら良いかを考えます。

公開セミナーの概要は下記のとおりです。

公開セミナー 「トルコ南東部を震源とする地震から1年 歴史都市アンタキヤの町並み復興を考える」

日時：2024年3月16日（土）13:30～15:30

会場：武庫川女子大学上甲子園キャンパス 甲子園会館西ホール

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町 1-13

入場無料／事前申込制／対面・オンライン（Zoom）併用開催

◆13:30～13:35 開会挨拶

岡崎甚幸（武庫川女子大学建築学部長・大学院建築学研究科長 教授）

◆13:35～14:30 第1部 基調講演

「歴史都市アンタキヤの紹介および2023年震災以降のアンタキヤの現状」

ムラツ・ドゥンダル（バフチェシヒル大学建築デザイン学部長 教授）※日本語を予定

◆14:40～15:30 第2部 ディスカッション

発表①「アンタキヤの町並み復興を考える その1 ～建築設計の立場から～」

柳沢和彦（武庫川女子大学建築学部 教授）

発表②「アンタキヤの町並み復興を考える その2 ～建築構造設計の立場から～」

鳥巢茂樹（武庫川女子大学建築学部 教授）

意見交換・質疑

主催：武庫川女子大学

後援：バフチェシヒル大学

〈お問い合わせ先〉

本件についてのお問い合わせ、取材のお申込みは下記にお願いします。

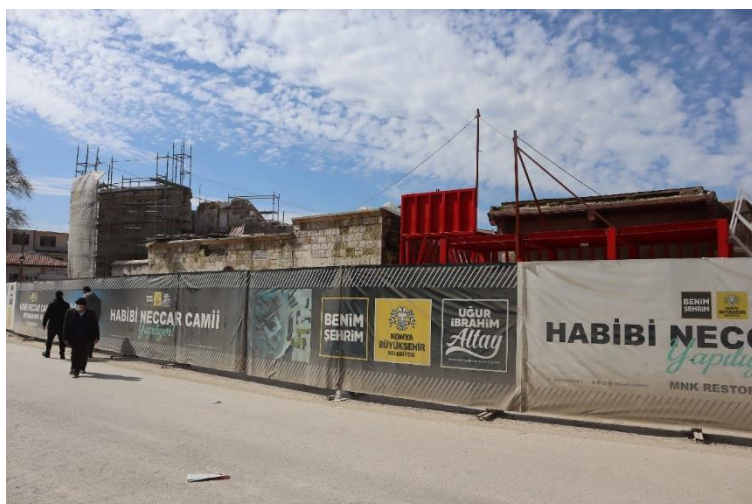
武庫川女子大学広報室

(電話) 0798-45-3533

(メール) kohos@mukogawa-u.ac.jp



アンタキヤの旧市街(2024年2月撮影)



モスクの修復現場(2024年2月撮影)